

今月の「トピックス」

1. 厳しい年の幕開け！
2. 不動産会社に相談する内容
3. 法律の専門家に相談したい！
4. この時代を生き抜く知恵は？
5. 高齢者が望むサービス！
6. リストラの嵐、不動産業界へ！
7. 「もしもノート」の有効活用を！
8. 爪が大変、これは病気です！
9. [おかやま的ココロ]
10. ほほえみ日記

今は賢く生き抜く時代！

消費の時代は終わりました。
今こそ本来の「物を大事にする」
時代なのです。お金の価値を改
めて認識し、感謝しましょう。
質素倹約こそが賢く生き抜く
知恵です。人と人が結びつき
助け合って乗り切りましょう。



たかし

1. 厳しい年の幕開け！

あけましておめでとうございます。
本年もどうぞ宜しくお願い致します。

例年とは違い「予想が付かない年となりそ
うな予感」がしています。毎年、仕事始めの
時はその年にやるべき目標を10項目挙げて
います。年末には達成出来たかどうか検証す
るのですが、100年に一度の大不況と言わ
れる経済状況を見ると、「いかにこの1年
を乗り越えていくか」という課題が最大であ
り、これに尽きるのでは無いでしょうか。

考えてみれば、この大不況現象は何十年も
掛かって徐々に進行して来たのです。たくさ
んの問題があったにも関わらず、世界は経済
発展のみに固執して人類や地球の未来をおざ
なりにして来ました。

1つの国だけでは解決しない問題も多いの
で、戦争を繰り返して来た歴史を考えると、
誰がどうする事も出来なかったのでしょう。

経済的に裕福になってきた時代、核家族が
増えました。多くの女性は仕事をするようにな
り、男女雇用均等法により益々女性の社会
進出が進みました。

優しい男性が増えたのは結構な事です。日
本の男尊女卑が消えてきました。男女平等に
なる事はとても良い事だと思うのですが、結
婚する人が減少して来た事が問題です。核家
族が多くなる事により、子育ての協力が受け
られない事が出産の減少に繋がっていると思
います。

派遣社員の雇用形態は、日本には向いてい

なかったと思います。

仕事は個人の能力も大事ですが、給料を頂
く限り「会社の為にいかに貢献出来るか」と
いう事が重要で、愛社精神が無ければお客様
からの信頼も受けられないと考えます。それ
ぞれの業種によっても違うでしょうし、パート
・アルバイトさんや派遣社員さんの能力や
考え方にもよる部分も多いので、考えを押し
つける事は出来ませんが、仕事は時間だけで
働くだけではなく、責任がついて回ります。
企業には責任を果たせる人間が必要です。時
間だけで働くなら、企業からいつ首を切られ
ても、それは誰にも文句は言えないのです。

景気が悪くなると、企業も人情だけでは雇
えません。生き残りを掛けてリストラを進め
ます。違法だとかいろいろ言われる事があっ
ても、国は何をして何の責任を果たしている
のか。国民を裏切っている事が多いのではな
いか。

考える事が多いです。
派遣社員でなければ仕事
が無いという実情が問題
でした。しかしこれから
は社員への待遇も厳しく
なるでしょう。

あけまして
おめでとうございます
ぼくが日本を明るく
します
まかせてください
ひびき



西区不動産専門店・賃貸・売買・リフォーム・保険・法律相談・サイクルセンター



岡山佳代子

株式会社アプローチ (旧) マンションセンターさいたま

TEL048-621-1300/FAX048-621-1301

お客様ご相談窓口 0120-241-060

〒331-0074

さいたま市西区宝来1717-5

<http://yamatokun.info/> mail info@yamatokun.com

■定休日 毎火曜

■営業時間 10~19



岡山 貴紀



企業の存続が危なくなると、社員はもちろん取引先・下請け企業などにも影響がでます。黒字の会社であっても突然業績が悪くなります。心配ですね。

もっと心配なのは、企業の業績が悪くなると国や地方に入る税収が大激減する事です。老齢年金や福祉に関わる保証もいつまで受けられるか、予想が出来なくなります。

個人の方でも、最悪の事態に備えて、今から最善の努力をしておかなければなりません。手近な所だと生活費の見直しです。娯楽費はすぐに削る事が出来ますが、食費や衣料費もすぐに減らす事が出来ます。健康を保つ事が医療費を安くする事に繋がります。

住居費を安くするには、安い賃貸に住み替える・家賃より安い支払で済む物件を購入する、などはすぐに出来る事です。家族と同居するのが一番手っ取り早いですね。

今後は今住んでいる賃貸物件の「家賃値下げ交渉」も出て来るかも知れません。家主様が賃料値下げ交渉に応じないと、空室が多くなるでしょう。再募集をする時、以前より安くでなければ入居者が決まらない事態が発生します。退去後の修理代も家主様負担が多くなりました。家主様も大変です。

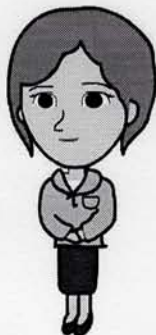
不動産に関する多くの問題が浮上して来る年となるでしょう。賃貸の場合は「家賃の滞納・夜逃げ・契約違反など」が出てきます。

売買の場合が「リストラによる財産処分・ローンの支払不能」が多くなるでしょう。不動産会社も仲介だけの仕事は減ってきます。これらの複雑な問題を解決出来るノウハウを持つ不動産会社だけが生き残るのです。

大変な時代の幕開けですが、私たちは今こそ実力を発揮して、皆様のお役に立てるように頑張ってお参ります。今は会社の規模ではなく、地元で信頼を頂ける会社が、より大きく発展して行くのだと思います。

《岡山佳代子ライセンス》

- ・住宅ローンアドバイザー
- ・宅地建物取引主任者
- ・不動産アナリスト
- ・不動産コンサルティング技能登録者
- ・損害保険代理店上級資格者
- ・防火管理者・少額短期保険募集人
- ・簿記2級・珠算2級・タクシー他



2. 不動産会社に相談する内容

不動産会社は「売る・買う・貸す・借りる」時だけ相談する所だと思っている方が多いですよ。一般的な不動産会社は、たぶんそれ以上踏み込んだ仕事はしていないと思います。

しかしアプローチは少し違います。ここで業務内容をご説明する事にしました。

【営業】

- 売買・仲介業務・・・売却と購入のご相談、ご案内から契約・引渡
- 売却手法の検討・・・売却時期・価格・売却以外の処分方法のご相談
- 購入物件の調査・分析・・・購入前の重要事項調査・問題点確認・ご提案
- リストラによる資産処分・・・買取・仲介・処分方法のアドバイス
- 賃貸用不動産の管理・運営・・・家主代理の管理・家賃滞納保証・トラブル処理
- テナント募集（居住用・事業用）・・・広告・案内・インターネット掲載・看板・情報誌
- サイクルセンターの管理・・・指扇駅前のサイクルセンター募集・管理

【トラブル相談】

- 賃貸トラブル（入居中）・・・近隣住民との騒音・建物設備のトラブル
- 家賃の未納・強制退去・・・家賃滞納・裁判・法的措置・委託処理
- ゴミ諸問題・・・ゴミネットの取付・住民への注意・ゴミ処分
- 更新契約時の手続き・・・更新時の必要書類・連帯保証人の手続き・保険継続
- 保証会社・保険会社・・・保証会社による入居審査・家賃滞納保証・火災保険加入
- 水漏れ・火災・盗難・・・入居中の水漏れ事故・火災事故や盗難の保険手続き
- 建物老朽・修理・・・建物の修理・改修工事・事故による修理と保険会社への折衝
- 敷金精算・原状回復・・・退去時の室内確認・入居者負担交渉と敷金精算業務

【リフォーム】

- 全面改装・間取変更・老朽化・・・購入物件・賃貸物件・個人住宅の修理・改修
- 二世帯・子供部屋・・・二世帯住宅へのリフォーム・子供部屋の造作など
- オール電化・耐震化・・・台所廻りの工事・建物全体のエコ対策・耐震化へ
- 個別リフォーム（内装工事・畳替・ハウスクリーニング・塗装工事・鍵交換etc）
- ★大型ゴミ・不要品の処分・・・引っ越しゴミ家電・その他ゴミ処分ご相談下さい。

☆これらの仕事を任せて頂くには、お客様からの信頼が必要となります。

その為に専門的な知識と各種資格を取得しています。28年の業界経験も皆様への的確なアドバイスに行かせると考えます。

★★住宅ローンアドバイザー・不動産コンサルティング技能・不動産アナリスト・宅地建物取引主任者・損害保険代理店上級資格・少額短期保険募集人★★

★不動産の仕事をする限り、その道のプロであり続けます

3. 法律の専門家に相談したい！

お客様から「あなたは法律に詳しいから、相談にのって欲しい」とお電話を頂きました。

「友達が分譲マンションを購入しようとしているけれど、不動産会社が二番手のお客さんに売ろうとしている」との事で、一番に購入申込をして住宅ローンの内定も貰ったのに、現金購入である二番手の買い手を優先したとの事です。

契約して引っ越しを計画している所、まさかの出来事で怒り狂っているのでしょうか。常識では考えられない、不動産会社にとっては信用問題に関わる対応です。本来であれば、まず一番目のお客様の内容が契約条件に合わなければ二番手のお客様に進めます。住宅ローンを利用するのであれば、内定結果を待って銀行がOKを出せば契約に進めるのが普通です。

しかし、ここ1年位の間に不動産会社の営業マンの態度が変わってきました。

以前に「購入を希望されている人がいますがローンを利用されますので契約は結果を待ってからとなります」と交渉しましたが「うちはローンの内定が下るまで物件を留めておく事は出来ません」と言われた事がありましたので驚きました。

歩合制の不動産会社に勤める営業マンは、この月が勝負です。来月になってしまったら今月の給料に還元されません。ここ1年くらい前から銀行もローン審査を厳しくしました。営業マンもローンを借りる人を待っていては仕事になりません。

今回のケースでは、営業マンだけを責める訳には行かないと思いますが、何度も仕事を休んで出かけ書類を提出し、時間やお金も掛けて交渉してただけに「はい解りました」と引き下がるわけには行きません。

民法上では「売ります。買います。」で契約は成立です。しかし現実には・・・という、成立させるには障害が多いです。

お客様に「契約する前に、その会社の方針が解って良かったですね。無理に契約してもトラブルが起こった時、きちんと対応してくれないでしょう。今すぐ購入するより、あと半年経てばもっと安くて良い物件が出てくるでしょう。気を取り直して、その不動産会社に迷惑料でも請求したらどうでしょう？」とお話しました。請求しても却下されるかも知れないですが、黙って引き下がるには悲しすぎます。

これからも今までに考えられなかった多くの問題が出て来るでしょうね。

不動産は大きなお金が絡んできます。しかも混乱した経済状況の社会では悪い考えを持った人が増えてくるでしょう。騙されないように、何人かの専門家に相談して、より良い方向に進むようにしましょう。

アプロチのたかしくんのお兄さんは、日本のハチマキをしていきます。淡路島の「用心棒」です。



4. この時代を生き抜く知恵は？！

不動産業界は1年くらい前から「7年前の開業以来、大きな不景気の波に呑み込まれた」という認識を持っていました。やはりアメリカのサブプライムローンが日本経済の至る所に悪影響を与えて来たのでしょうか。

まず銀行が貸し渋りを始めました。今までの基準によるお客様の借入れ審査では、当然融資してくれる問題の無い条件であったのが、理由も分からず「融資却下」なのです。銀行の営業マンも最初は「この書類を出して頂ければ大丈夫ですよ」と話していたのが、いろいろな理由を付けて断ってきました。

別の銀行に申し込みば大丈夫かと思いましたが、3社に申し込んで全部却下されました。頑張ったのですがお客様には本当に迷惑をお掛けしてしまいました。「希望を捨てずに頑張りましょう。この内容で今まで住宅ローンが借りられました」とお話していたのが、うまく行かなかったのは本当に残念でした。

それから売買契約出来たのは、買い主様が公務員だった方・現金購入の方でした。「家賃を払うよりローンの支払が安くなるなら」とご相談を受けたお客様は、手持ち資金を持っておられない方が多いのですね。

お給料のほとんどを使い切ってしまうという生活習慣になっています。ボーナスが入れば、旅行や娯楽費に変わります。コツコツと貯金をする人が少ない時代ようです。

家庭の主婦も、お給料は毎月きちんと入ってくるものだと思て疑いません。いくら景気が悪いと報道されても「まるで人ごと」だと思っている方が意外と多いです。元気な人でも、いつ病気になるか、仕事をしていても、いつ失業するか解りません。万一の時の為に毎月コツコツと貯金しましょう。

もし老齢年金を受け取れるとしても、退職してから年金を受け取れるまで10年から15年掛かってしまうかも知れません。

問題なのは、この期間「どうやって生活するか」です。待ちに待って、いざ年金を受け取れる年齢になって、本当に受け取れるかどうか、今の日本は当てに出来ないかも知れません。

かと言って、他に良い方法があるかと言えば妙案はなかなか出せません。日本全体で自給自足して節約に心がけ、助け合う事が重要です。

田舎に行って農作業、高齢者の集団生活、不要品の物々交換などは、どうでしょうか？少しの事で良いと思ったら取り入れて実行して行きましょう。

5. 高齢者が望むサービス！

いざというときに必要だと高齢者が考える主なサービスは「定期的な安否確認」と「緊急通報」「病院などの送迎」「家事手伝い」の4つです。これは国土交通省が8月に行った「日常生活に関するアンケート調査」の結果です。

高齢者（65歳以上）人口が50%以上を占める20地区で調査を行い、1849世帯の回答がありました。

<以下、調査の概要（抜粋）>

1. 回答者の世帯構成

回答世帯の世帯主は、約7割が65歳以上。65歳以上の単身世帯は25%、夫婦世帯は29%。

6割以上の世帯で、子供（15歳以上）が独立して遠方に住んでいる。

2. 世帯主の職業

約6割が年金受給者。一番多い収入が公的年金であるという世帯は52%。

3. 車の運転

車を運転する人のいる世帯は約7割。車やバイクが移動手段の約7割を占め、公共交通機関の利用は少ない。

移動先は買い物や病院等であるため、積極的に車を利用しているわけではないかもしれない。なお、女性のひとり暮らし世帯で車を運転するとの回答は16.4%にすぎない。

4. インターネット

日常的にインターネットを利用する人のいる世帯は16.4%。

5. 生活で困っていること、不安なこと

一番は「近くに病院がない」20.7%、「緊急医療機関が遠い」19.1%、「近くで食料や日用品を買えない」15.8%。

6. いざというときに必要なサービス

「定期的な安否確認」と「緊急通報」「病院などの送迎」「家事手伝い」の4つがいずれも約2割。次いで「災害発生時の避難支援」4.6%、「買い物手伝い」4%。

7. 今後の居住意向

「ぜひ将来も住み続けたい」と「できれば将来も住み続けたい」の合計は約9割。一番の理由は家や地域への愛着。

もし自分が高齢者になった時、どのような所に住んでどんな生活をしたいか、と考えた時、やはり故郷を思い出します。なれた慣れ親しんだ地域で知り合いが多い場所だとストレスを感じないでしょう。でも買物や病院が遠いと本当に大変ですね。



犬を飼っていると番犬になるし、退屈しない・ぼけ防止になるといふ利点がある！

でも現実・・・と言えば、生活費を確保しなければならないので果たして私たちが高齢者になった時、年金が受け取れるのかどうか、もし出来ない時、家族にどれだけの負担を掛けてしまうのか、子供達に頼れない人は国のお世話になれるのか、等いろいろと考えていると、自分の希望する生活を送るのが非常に難しいと思います。

それより高齢者が多すぎる事により、若い人達への税負担・介護に要する時間や生活への影響などが心配です。親には元気で長生きして欲しい。病気になるまい自分たちのそばで暮らして欲しい。それでないと、生活がなりたたなくなりますから。

田舎で暮らすにはとても不便です。お店も病院も少ないです。「危険だから車に乗らないように」と言っても、病院や買物に出かけるすべがありません。都市と地域の格差がどんどん広がり、大きな問題を抱えています。

住民の協力や福祉の充実が望まれます。



ひいおばあちゃん
元気で長生きしてね

6. リストラの嵐、不動産業界へ！

法人契約のアパートが解約となり、退去立会をしました。立会は会社が依頼した「退去立会を専門で引き受けている会社」が行いました。仕事の範囲は関東一円だとのことでした。

大手企業のリストラがアパート解約に繋がっているのかと聞いてみました。

「すごい数で退去が続いています。社宅として複数借りていたアパートは一度に部屋が空いてしまい、悲惨な状態です。」と話されていました。

都内の不動産会社は、分譲マンションや新築一戸建住宅の販売不振があり、賃貸物件もほとんど解約で空室が急増しています。

テレビ報道では、企業が社員や派遣社員のリストラをしている様子と経営縮小が報じられています。

この景気の悪さを感じていない家庭の主婦は、未だに他人事のように感じているようですが、仕事を通じてひしひしと厳しさを感じています。

- ・サラリーマンしかした事がない人が、会社を辞めてしまったらどうなるのでしょうか？
- ・家族がいたら、子供達を育てるには？
- ・教育費は？
- ・住む所が無くなるだけでも大変だけれど、多額のローンを抱えたままリストラに遭ってしまったら、その後はどうなる？

何かの理由で多額のお金が必要になった時、ほとんどの人が不動産を処分されます。しかしその不動産が売れなければ、いったいどんな事になるのか？

不動産の差押え・明け渡し・破産など、ひどい現状が待っています。

どの企業も厳しいのですから、対策しようにも非常に難しいです。犯罪が増え、ホームレスが増え、日本経済が破綻し、病気になってもお医者さんにかかれず、人口が減少するのでしょうか？

どうも悪い方向へと動いていくように予想してしまいます。

でも少しでも早く手を打って、毎月の生活費が安くなるように考えましょう。家賃やローンが生活費の20～40%を占めています。親族と同居するか、住み替えて生活費を抑えましょう。私たちにお手伝い出来ることがあれば、いつでもご相談下さい。法律の裏話を知っています。現実問題と対処方法は違うのです。今こそ皆様のお役に立てると考えています。

7. 「もしもノート」の有効活用を！

誰でも突然「命の危機に遭遇する」ことがあります。もしもあなたにそんな時がきてしまったら・・・

- ・急に意識がなくなったらていへん！！
- ・大事なものはちゃんとわかるようにしとかなくっちゃ！！
- ・交通事故 病気 災害 事件に巻き込まれて・・・なんて

- ・カードはどこに？
- ・貯金通帳は？ 印鑑は？ 印鑑証明は？
- ・だれに知らせたらいいんだろう？

本屋さんで「もしもノート」を見つけた時に、このノートに書いておく大切さを考えました。自分で整理しておくにも便利です。仕事を通じて「相続争いや身内のいがみあい」を

見かけます。どの家庭にも問題が起こっているのです。

もし自分の行く末や財産の事を、自分が思っているように家族にして貰うには、文章に残しておくのが良いでしょう。

- ・「もしも」のときの私の覚書
- ・私の家族・親族について
- ・「もしも」のときに知らせてほしい人
- ・「もしも」のときにしたいこと・知らせたいこと
- ・「もしも」のときの連絡先（趣味・仕事・友人・知人関係）
- ・私が入会している団体・クラブ・同窓会
- ・私の財産（不動産・預貯金・株・その他）
- ・私の負債（借入金・クレジットカード）
- ・保険・年金
- ・携帯電話やパソコンのデータの処理
- ・ペットのこと
- ・遺言・相続
- ・私の病気について・終末期医療についての私の考え方
- ・私自身に判断力がなくなったとき
- ・お葬式・お墓のこと
- ・私の履歴

これらの内容を書いて残しておくのは、年齢は関係ありません。万一の時は突然やってきます。若くても事故や病気に遭う人も多いです。寝込んでしまった時に戸惑うのは家族です。また財産を処分するにも自分の意志を貫きたいものです。遺言についても勉強しておきましょう。



馬子にも衣装
(孫とは書かないんですね)
カッコイイ！
成長が楽しみです。

8. 爪が大変、これは病気です！

1～2年前から、足の爪がおかしいなあ・・・・と思っていたんです。爪が白くなったり分厚くなったりするのは、クツが合わないのだと思っていました。年齢的な事もあるので「ある程度の年になったら、いろいろと支障が出てくるのだ」と思っていました。

特に私は「山登り・ソフトボール」などのスポーツをします。登山靴やスパイクを履きますので足に負担が掛かっています。大きな足なので指が押さえつけられて変形してきたせいだと思っていました。

でもひどくなるばかりなので、インターネットで調べてみました。

爪水虫の症状ですが、初期症状では爪の先端が白くにょたり、爪の中に白い筋ができてくるのが通常です。爪水虫の初期には、あまり爪の周りのかゆみや痛みなどを伴うことはありません。

初期症状ではかゆみもなく「爪がちょっと変だな」と思うくらいですから、爪に水虫ができてこと自体を認識していないか方であれば、そのまま放置してしまうことがあります。

爪水虫の症状のほとんどは爪の先端からですが、その他に先端からではなく甘皮の部分から爪水虫になる場合（甘皮の近くから爪が白くなります）と、爪の表面から爪水虫になる場合（爪の表面に白い点ができます）があります。

爪水虫では、ほとんどの場合で他の部分に水虫の症状がでているはずなので、本当はここで気付いて、例えば足の水虫（足白癬）と爪の水虫（爪白癬）の両方を治療して完治させるべきなのです。両方を完治させないと、水虫菌はどちらかにひそんでいるわけですから、一時的に水虫の症状が治まったとしても、必ず再発することになってしまいます。それに放っておく時間が長いほど治りにくくなってしまいます。

爪の先端から・甘皮の部分から・爪の表面からいずれのパターンで爪水虫になっても、症状が進行すると爪全体が黄色がかった白に変色していきます。

また、爪の表面の下の部分である爪床の角質が厚くなり、爪の厚みにも変化がで始め爪がボロボロになってしまいますが、なかには爪が厚くならず爪の変色のみが進行するケースもあります。

爪水虫も症状が進んでしまうと、爪も変形を起こし痛みを伴うようになってしまいますし、爪ももろくなってしまうので、他のカビに感染したり汚れが入り込みますから、爪の色は褐色になります。

私の爪は僅かですが、褐色になりかけてきました。皮膚科に行ってみてもらいますと「爪水虫です」と言われて軟膏をくれました。飲み薬もあるそうですが、しばらくは塗り薬で治そうと思います。

病気というのはいろいろな症状が出るものです。爪といえども変形したり爪が浮いたりすると、行動にも支障が出てきます。しばらくは固いクツは履けません。皆さんも気を付けて下さい。

9. おかやま的ココロ

いよいよ2009年になりました。2009じゃ、ちょっと語呂が悪いからいっそのこと2010年にしてしまいたい岡山営業部長です。さて、年も明けたことですし、宇宙の果ての続編です。

今回は宇宙の大きさについてだいたいの大きさがイメージできたかと思います。あ、できたというよりはイメージすることさえ困難だと思ったはず。読んでない人はアプローチのホームページ参照）そして今回はもう少しつっこんだ話を書いていきますよ。

みなさんご存じのドラえもののポケット。その名も「四次元ポケット」。こんなことは、国民的大スターのドラえもんですから、「わざわざ言われなくてもわかってるよ」という声が聞こえてきそうです。しかし今回肝心なのはドラえもんでもなくポケットでもなく、「四次元」という部分。一言で四次元と言っても人間には理解できません。宇宙は四次元です。地球が三次元というわけではないですよ？地球も立派な四次元。人間が認識できないだけなんです。では次元というモノをわかりやすく説明します。

1匹の犬がいるとしましょう。まずはじめに1本の直線上（前後）の世界だけで生きている犬がいます。正確には1次元認識動物。この犬が、宝物の骨付き肉を誰にも取られないようにしようと考えた時、きっと前後にドアをつけるでしょう。これで誰も骨には近づけません。しかしかわいそうに。横から手を伸ばせば簡単に取れますよね。でもこの犬は「左右」という次元を認識できない（わからない）から仕方ありません。

次に2次元（前後と左右）の平面の世界でしか生きられない犬がいるとします。この犬は宝物の骨付き肉を隠そうと考えた時、四方を壁で囲むでしょう。これで誰にも取られません。し

かしかわいそうに。上からヒョイっと手を伸ばせば簡単に取れます。でもこの犬は「上下」という次元を認識できないから仕方ない、となるわけです。

そして、次が3次元（前後・左右・上下）ですね。この三次元的認識動物が人間が所属するグループです。人間なら宝物は金庫に隠すでしょう。鉄の箱に鉄の扉、頑丈なロックまでかけてあるので、これで誰にも取られません。しかしかわいそうに。「時空」の境目から手を伸ばせば簡単に取られてしまいます。だって人間は四次元を認識できないから仕方ありません。そう、これが四次元という、人間が認識できない次元なんです。



私には兄がいるのですが、2月から指扇地区に住む事になりました。どうぞよろしくお願いします。



管理部 岡山

では時空とはなんなのか。以前に書いた「光の速さ」についてのことを覚えているでしょうか。光速というものを説明した時、ハッキリ言って納得できた人は少ないと思います。納得と言うよりも、むしろ「そういうものなんだ」と思わざるをえないですね。これと全く同じ事が四次元空間にも当てはまるんですよ。

つまりですね、四次元というのは三次元プラス時間であり、時間と空間は別ではなく「時空」という一つのまとまりになると考えれば四次元のイメージができあがります。要は、一次元がX軸、二次元がY軸、三次元がZ軸として3つの軸を立体で書いた時、人間の頭ではどう考えてももう1つの軸がかけないんですね。そこで、もう1つの軸は「時間軸」だろうと。

さて前回の「宇宙の広さ」と今回の「四次元」そこまでわかったところで「宇宙の果て」について理解しやすくなってきます。

以前に書いた中で、光の速さについての説明がありました。光の速さ＝秒速30万キロ。そして

光の速さを「光速」と言います。これより速いモノは世の中には存在しません。1光年は、光の速さで1年かかって進む距離なので、1光年離れた場所にある星の姿は1年前に発せられた姿だということがわかんと思います。

そう、僕たちが宇宙を見る時それは「過去」を見ているのと同じ事なんですよ。そう考えると、同じ空間の中に過去が共存していることになるので、空間と時間は「時空」というまとまりになるわけですね。と、いうことは、地球から視覚的に確認することができる宇宙の一番向こうというのは、「宇宙が誕生した時」っていうことになりませんか？

実はそれが「宇宙の果て」についての答えです。ちなみに、宇宙が誕生したのはビッグバンよりも前で、1つの点から空間だけがバァーっと広がっていった時代があります。そこが宇宙の起源です。そしてその「宇宙が誕生した時」こそが実に137億光年前になるので、宇宙の果てとは、137億光年先になるんです。

しかし、それで解決するほど宇宙という存在はちっぽけではありません。実は宇宙は常に光の速さで膨張し続けています。なのに宇宙の果てが137億光年先というのには変わりありません。なぜでしょうか。次回の「おかやま的ココロ」はそこらへんについて、さらなるビックリ仰天な情報をお届けします。

それでは皆さん、寒い日が続きますが今年もどうぞ宜しくお願いいたします。来月の僕は花粉症に苦しんでいることでしょう（笑）

10. ほほえみ日記

新年明けましておめでとうございます。
冬本番となりましたが皆様は体調いかがでしょうか。うちの子は正月早々39度も熱を出すしスノボで脱臼するしバタバタです。

11月にいやんが七五三を迎えました。
写真屋さんで袴（はかま）を着て写真を撮り、産まれた時お宮参りに行った神社にお参りに行き。
袴姿のたくましい姿にウルツときて、お払いの後、神主さんに名前を呼ばれ「はいっ！」と元気に返事をしてお札を受け取る姿にウルツときて。
元気にスクスク育ってくれたことに感謝です。

それにしても最近良く食べる。毎食大人と同じ

くらい食べて、ご飯食べながら「今日の晩御飯なあに？」と聞いてきます。

なんなんでしょう。満腹中枢がおかしいんじゃないんですかね？

ってくらい、常に食べていたいらしいです。

まるで妊婦期の私を見ているようです。

妊婦中期は本当に食べ盛りで、田んぼの草さえもおいしそうで、「あの草には和風ドレッシングだな」と妄想していたものです。

冒頭にもありますように、年末、友達家族と長野にスノボに行きました。

にいやんは気が狂ったかのようにソリ滑りばかり。

みっくんは坂道で手をつないでいて滑り、私が逆方向に思わず腕を引っ張ってしまった結果、脱臼してしまいました。

目に見えるものではないので、最初はひねったのか筋を伸ばしたのか、何で痛がっているのかわからず、てんてこ舞いでした。

現地の病院に行って先生が2、3回腕を曲げて「はい、治ったよー」というと、今まで泣き疲れてグッタリしていたのがウソのようにケロっと元気。

先生、すごいです。

友達は自分の子どもの肩を脱臼させてしまい、冷静に自ら戻したらしいです。

が！！

先生によると、「脱臼に見えて骨折もあるから自分で判断しないで病院に来てください」だそうです。

なんでも素人判断はいけません、ってことですね。

何はともあれ、今年もほほえみ日記ともども、よろしくお願いします。



家族で力を合わせて皆様のお役にたちます
《アプローチファミリー》